



©2005 石塚真一小学館

島崎三歩の山岳通信 特別連載 Vol.8

# 信州 山のプロフェッショナル

長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則 1 週間ごとにお伝えしている「島崎三歩の山岳通信」。その特別連載として、季節ごとに発行する「山岳情報」に登場！

信州の山で多方面に活躍する“プロフェッショナル”の方々の声を、皆様にお届けします！（聞き手：編集部）

## Vol.8 “雪崩”のプロフェッショナル

### 特定非営利活動法人日本雪崩ネットワーク(Japan Avalanche Network) 理事 出川あずさ さん

#### <プロフィール>

1961 年横浜生まれ。国内外の雪崩対策と教育を視察調査した後、日本雪崩ネットワークを設立。白馬にて雪崩講習及び人材育成に携わる。これまで多数の雪崩事故の調査を行うと同時に白馬連峰など人気山域にて、国際標準の雪崩情報の発表も行う。日本山岳ガイド協会の雪崩に係るガイド養成指導者や日本雪崩搜索救助協議会の理事も務める。白馬村に拠点を移転。



「地形理解に基づく、行動管理が最も重要です」（出川）

― 出川さんは、「日本雪崩ネットワーク」を立ち上げていらっしゃいますが、一般ユーザー向けの雪崩教育の活動を教えてください。

出川 危険に対する気づきの機会である「啓発」と、具体的なリスク管理手法を学ぶ「講習会」を実施しています。雪崩のことは、やはり雪の上でないと学べません。

#### ① アバランチナイト

雪崩の基礎と調査した事故事例のお話をする無料セミナーです。これまで全国32都市で開催し、延べ2万人以上が参加されています。参加者は30～40代、経験年数5年以下の方が中心で、雪山未経験の方も1割程いらっしゃいます。一方で事例を聞きに来られるベテランの方もいます。

#### ② セイフティキャンプ

実際にフィールドで安全対策を学ぶ雪上講習会です。入門者向けの「ベーシック（2日間）」と経験者向けの「アドバンス（5日間）」があります。ベーシックは、長く山を楽しむために必要な安全対策の骨組みを学びます。アドバンスは、積雪不安定性の評価について丁寧に講習します。いずれの講習でも、地形理解に基づく行動管理の大切さが分かります。

― 滑走者への「管理されていない斜面」に潜む危険についての啓発キャンペーン「ロープの向こう側（P.14）」への想いと反響を教えてください。

出川 新雪滑走が大好きなゲレンデ滑走者に対して、バックカントリーには気づきにくい危険があること、また、それらはスキー場の閉鎖区域にもあることを知ってほしく啓発を始め

ました。長野県にポスターを作成していただき、スキー場や宿泊先、公共交通機関等に掲示されました。英語併記であることと、分かりやすいイラストが目を引き、ポスターを持って帰りたいたいという外国人の方もいらっしゃいました。

**一シーズン中にサイトで「雪崩情報」やフィールドでの「観察データ」を公開していますが、どのような活用を期待されますか。**

出川 雪崩情報は国際標準の危険度区分と様式で発表しています。朝、その内容を確認することで積雪の全体傾向を把握し、ツアー計画に役立ててください。危険度が「3 警戒」の時に事故は多く発生しています。このような日は、安全のマージン（安全性を確保するための余裕やゆとり）を大きく取り、保守的な行動を心掛けてください。また、観察データは、予定している山と周辺山域の雪崩発生状況を確認してください。これが一番重要なデータです。



多量降雪に伴うストームスラブによる雪崩の危険が全方位にあり、特に南東を中心とした森林限界以上の標高帯が危険であることがわかる。

**一登山者やバックカントリーの滑走者など雪山利用者自身が、安全のために何か貢献できることはあるでしょうか？**

出川 山で他グループと出会ったら、積雪コンディションに係る重要な情報の交換をしてください。そして、真新しい雪崩などを観察したら、下山後で構いませんから Twitter (#nadare2020) に流す、あるいは投稿フォームから情報をお寄せください。これらは同じ山域に入る方の助けとなりますし、雪崩情報の作成にも役立ちます。

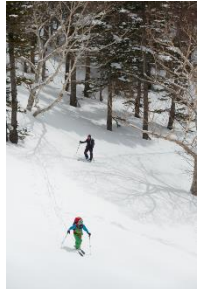


Twitter で情報を共有

「雪山の安全は、皆さんの力で向上させることができます」  
(出川)

**一登山者・スキーヤー・スノーボーダーが安全に雪山を楽しむために、アドバイスをお願いします。**

出川 強い気象現象は、必ず積雪を不安定化させます。風を伴いながら時間降雪深3cmの降雪が数時間継続すれば、地形によっては、既に、致命的となる規模の雪崩が発生しうる状態にあると考えることが必要です。これは弱層テストをするといったことよりも、遥かに重要な基礎知識です。また、安全な位置で止まる、一人ずつ滑るといった原則的な行動様式を大切にしてください。これが事故の発生確率を下げ、また事故が発生した場合でも、その被害を小さくすることに役立ちます。なお、安全対策の全体像と重要事項への理解を促すため、「7 STEPS」と名付けた新しい啓発を開始しました。ホームページに情報が掲載されますので、ご確認ください。



危険に曝される時間と人数をコントロールすることがリスク軽減に最も重要です。

**一長年にわたって雪崩情報の啓発と講習会等を実施している出川さんの活動と想いをお聞きしました。無事下山することも登山者・スキーヤー・スノーボーダーの責務。自らを守るための知識と技術を身につけて信州の山を安全に楽しみましょう！**